

## ■文教社会分科会

**問** 図書館維持管理経費は、電気料高騰による補正とのことで、補正予算額の積算根拠を伺います。

**答** 指定管理者から提出された令和3年度以降の実績と今後の見込額を受けて、指定管理者と協議したものです。

**問** 基本協定書には、物価や金利変動に伴うものは指定管理者が負担すると明記されていますが、なぜ今回、市が補正予算を計上するのか伺います。

**答** 物価水準の変動などやむを得ない事由の場合、市は指定管理者と指定管理料の変更協議を行います。この協議の結果、今回の電気料の高騰は通常の物価上昇とは異なる次元のものと捉えましたので、補正予算を計上しました。

**問** 図書館の節電への取り組みについて伺います。

**答** スタッフが巡回して不要な電気の消灯などを積極的に行っています。また、中央図書館には5・5<sup>キワット</sup>、有馬図書館には30<sup>キワット</sup>の太陽光発電施設を設置しており電気料の支出抑制に寄与しています。

## ■経済建設分科会

**問** 小田急海老名駅ホームドア設置事業に活用される、バリアフリー料金制度の詳細を伺います。

**答** この料金制度は、都市部で利用者に薄く広く負担を求める一方、地方部では既存の支援措置を重点化することで全国の鉄道施設のバリアフリー化を加速するために創設された国の制度です。鉄道事業者がこの料金制度を活用すると国の補助は受けられませんが、自治体が補助することは可能になっています。神奈川県は県内の整備を促進するため、引き続きホームドア整備に補助を行うと聞いており、市としても支援を継続したいと考えています。

**問** 市道479号線、市道大谷峰線および橋りょうの法定点検業務委託を繰越明許費とする理由を伺います。

**答** 国の補助金が追加で受けられることになったため、来年度に予定していた点検業務を実施しますが、年度内の完了が見込めないで、繰越明許費を設定するものです。

# 予算に対する討論の概要

令和5年度予算（一般会計、4特別会計および公共下水道事業会計）に対し、5名の議員が各会派を代表して討論を行いました。その概要は次のとおりです。

（金額の単位は千円）

会 計 名	令和5年度 当初予算額	令和4年度 当初予算額	比 較	対前年度伸率
一 般 会 計	48,567,000	46,180,000	2,387,000	5.2%
特 別 会 計	23,899,961	23,246,861	653,100	2.8%
国民健康保険事業	12,311,897	12,212,821	99,076	0.8%
介護保険事業	9,237,783	8,931,062	306,721	3.4%
後期高齢者医療事業	2,252,748	2,102,978	149,770	7.1%
公共用地先行取得事業	97,533	—	97,533	皆増
企 業 会 計	4,938,974	4,613,516	325,458	7.1%
公 共 下 水 道 事 業				
合 計	77,405,935	74,040,377	3,365,558	4.5%

## 政 進 会

賛 成

○全ての会計予算に賛成

▽今後見込まれている人口増や、新型コロナウイルスの5類への移行に伴う新たな財政需要の発生など、社会経済情勢の変化に柔軟に対応しながら、市民生活を守ることを最優先にした財政運営を望みます。▽豊かな市民生活あつての海老名市の飛躍です。住んでよかったと思える施策の実施を期待します。▽子ども医療費の助成対象を満18歳まで拡大するほか、保険適用の特定不妊治療と併用した先進医療費用や50歳以上の帯状疱疹ワクチン接種費用を一部助成するなど、幅広い年齢層に手厚い対応がされています。▽活動2年目となる一般社団法人農業支援センターの事業が拡大されます。農業が活性化し、ひいては地産地消までを視野に、いわば市の食糧の安全保障に向けた今後の展開に大いに期待します。▽市役所周辺地区の市街化区域編入とその後のまちづくりに関する調査・検討、（仮称）大谷・杉久保公園の基本構想と基本計画の策定など、地域の魅力向上や活性化を期待します。▽GIGAスクール構想で導入されたICT学習ツールなどを活用した、不登校または不登校傾向の児童生徒の学習機会の保障が盛り込まれた上、事情があつて登校できない場合も手当しようとしている点を評価します。▽老朽化した消防署南分署の移転・建て替え、消防団員の新規加入を促進する準中型運転免許の取得費用の補助は、消防力強化に資するもので、さらなる安全安心が得られるものと期待します。▽24時間スマートフォンで行政手続きが完結するスマホ市役所は、手続きに地理的、時間的な制約がなくなることによって利用者は便利になり、窓口の混雑緩和にも寄与するなど、これからの時代にふさわしい取り組みだと高く評価されるものだと感じています。

